

私の留学体験記

広島県立大竹高等学校 3年 篠塚 湊（しのづかみなと）

留学期間 令和5年8月20日 ～ 令和5年8月26日（6日間）

留学先 カラヘオ高校（アメリカ合衆国・ハワイ州）

私は、今年の8月20日から26日の間、ハワイ州のオアフ島に位置する大竹高校の姉妹校のカラヘオ高校に、私を含めた生徒2人と引率の先生の計3人で訪問し、ホームステイや授業体験、オアフ島の名所の観光などを体験しました。カラヘオ高校には日本の中学3年生から高校3年生相当の年齢の生徒が在籍していて、スクールカラーは青とオレンジ、学校のシンボルはマスタングという野生の馬です。今回は新型コロナウイルスの影響により4年ぶりの交換留学でした。

まず、私たちは現地時間の20日の午前10時に空港へ到着しホストファミリーと付き添いの先生からの温かい歓迎を受けました。そこからは私と他2人とは別行動になり、私の方はホストファミリーの生徒とその母親が家までオアフ島内をドライブしてくれ、家に着いた時にはホストファミリーの生徒の父と弟、ペット3匹とも対面しました。そのあとは学校の体育館でカラヘオ高校創立50周年の記念式典があり、そこでご馳走も出され夜まで過ごしました。

2日目から学校へ行きました。私たちの高校との違いは、とにかく広く設備が一つ一つ充実していて、驚くことに何匹かのニワトリが校内を歩き回っていました。授業体験ではカラヘオ高校で行われている日本語や現地料理の料理実習、ウクレレなどの授業に参加しました。その中で多くの先生や生徒と会いましたが、意外にも日本語がある程度喋れたり、親が外国から移住している生徒、先生が結構いました。そのためか、日本から来た私たち留学生を人種で珍しがることはありませんでした。その後、ワイキキビーチ、ダイヤモンドヘッドやパールハーバー国立記念館の見学、ポリネシアンカルチャーセンターなどのオアフ島の観光を行いました。特にポリネシアンカルチャーセンターでのショーは、火の点いた棒を使ったパフォーマンスにとっても感動しました。最終日前日、図書室の中で軽食が出されたお別れ会がありました。そこでも数名の生徒がいて彼らとの雑談を楽しみ、連絡先も交換し、たくさんのお土産を頂きました。明日ハワイから離れると思うと少し寂しかったです。

最終日は、午前中はホストファミリーと家で過ごしました。空港前でのお別れはとても悲しくなりましたが、この約2ヶ月後に私たちの大竹高校に私ともう一人の留学生のホストファミリーだった生徒が訪れるのでまた会えるので楽しみにしています。今回の訪問で英語での意思疎通の難しさ、日米の文化や人々の性格の違いや共通点などに触れることが出来ました。この経験はこれから海外へ行くときに役立てたいと思います。